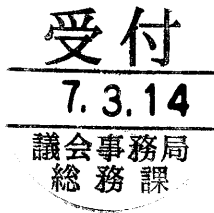


(様式2)



令和7年3月14日

京丹後市議会副議長 様

氏 名 中野 勝友



調査研究等報告書

下記のとおり実施しましたので報告します。

記

- 1 日程 令和6年11月21日(木) 11:00～16:30
- 2 場所 ①近畿中部防衛局
②近畿地方整備局
③京都府建設交通部
- 3 目的 (1)山陰近畿自動車道の早期全線開通に向けて、近畿地方整備局並びに京都府に対して要望活動を行う。
(2)緊急輸送道路に指定されている国道及び府道の整備事業について、事業主体である京都府並びにその財源支援を行っている防衛省に対して事業支援を要望する。
- 4 該当する政務活動費の使途項目 要請・陳情費
- 5 支出経費の内訳と金額 4,950円
(内訳: レンタカー使用料 4,180円、燃料代 770円)
- 6 参加議員名 中野 勝友
- 7 活動成果の概要、所見
(1) 近畿中部防衛局
池田近畿中部防衛局長と面会
要望書を手交し、議連会長の池田議員が代表して要望内容の説明を行った。その

後参加した各議員からの発言を受け、池田局長からは、府が実施している道路事業を引き続き支援していくが、屏風岩橋については厳しいとの回答であった。

(2) 近畿地方整備局

田中道路部長と面会

要望書を手交し、議連会長の池田議員が代表して要望内容の説明を行った。大宮峰山インターチェンジから府県境までの全線を令和10年代に完成するよう具体的な整備の年次計画を立てて、早期整備を図られたいこと、大宮峰山道路が令和8年度までに完成するための予算措置、大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでの区間を令和7年度中の早期事業化に直結した手続きの支援などを要望した。

(3) 京都府建設交通部

石井建設交通部長と面会

要望書を手交し、議連会長の池田議員が代表して要望内容の説明を行った。近畿地方整備局への要望事項に加え、防災機能の向上を図るため、緊急輸送道路の安心・安全な通行環境の確保について要望した。

8 成果物、資料等

(1) 近畿中部防衛局への要望書

(2) 近畿地方整備局への要望書

(3) 京都府建設交通部への要望書

要 望 書

令和6年11月

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

米軍経ヶ岬通信所設置に関連する道路整備に関する要望書

防衛省におかれましては、米軍経ヶ岬通信所設置に伴い、市内の国府道の整備を民生安定事業の有利な財源によりご支援をいただいております。今年度の防衛省の全体の道路改修等事業の予算額は約79億円という状況の中、京丹後市内の道路事業に補助金として約15億円が配分されており、多く配分をいただいていることに感謝いたします。

引き続き、民生安定事業の府道浜丹後線上野平バイパス、府道間人大宮線丹後弥栄道路丹後工区及び府道網野岩滝線外村バイパス整備の支援をしていただいておりますことに対しても感謝いたします。

本議員連盟では、国内で2例目となるミサイル防衛用早期警戒レーダーが配備されている米軍経ヶ岬通信所は、我が国の安全保障上欠かすことのできない重要な防衛施設であると考えています。

しかしながら、京丹後市内においては、まだまだ道路整備が十分ではなく、令和3年度に米軍経ヶ岬通信所内に隊舎が完成したことに伴い、米軍経ヶ岬通信所への物資運搬や隊員の買い物等、生活上の移動時の交通事故の心配があり、防衛施設に対する住民の理解を得る上でも、道路整備は切実かつ喫緊の課題となっています。

また、令和6年1月の能登半島地震、令和6年9月の能登半島豪雨災害では、半島という地形的な特徴から、中山間地域、沿岸地域などの地区及び集落において、道路が寸断され、多くの集落が孤立状態となり、災害対応を困難にするなど、大規模災害発生時の半島地域における道路ネットワークの脆弱性が改めて顕在化しました。丹後半島も能登半島と同じ日本海側の同様の地形であり、地震や大雨等の大規模自然災害が発生した場合、同様のことが想定されることから、大規模自然災害時においても「確実に機能する道路ネットワーク」の、道路整備が必要不可欠であり、早急な整備が安全・安心の確保に大きく貢献するものと確信しています。

つきましては、現在、京都府において整備されている下記道路事業が早期に完成するよう必要な予算確保と京都府へ要望中の下記道路事業に対する格別の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業中の道路事業

主要地方道浜丹後線（上野平バイパス）

一般府道間人大宮線（丹後弥栄道路・丹後工区）

主要地方道網野岩滝線（外村バイパス）

要望中の道路事業

国道178号（「仮称」屏風岩橋）

令和6年11月21日

近畿中部防衛局

局長 池田 眞人 様

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会長 池田 恵一

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 池 田 惠 一

副会長 櫻 井 祐 策

幹 事 松 本 聖 司

幹 事 谷 津 伸 幸

幹 事 多賀野 一 彦

小 牧 裕 幸

佐久間 仁 美

中 野 勝 友

鳴 海 公 軌

野 木 教 貴

東 田 真 希

山 本 佑 太

由 利 彰 基

吉 岡 正 一

和 田 晋

京丹後市における防衛省関連道路事業 位置図



日本海

④(仮称)屏風岩橋
(国道178号)

米軍レーダー基地

①上野平バイパス
(府道浜丹後線)

②丹後称半道路
(府道間人大宮線)

③外村バイパス
(府道網野岩滝線)

(仮)大宮峰山IC

京丹後市役所

ICアクセス道路

ICアクセス道路

京丹後大宮IC

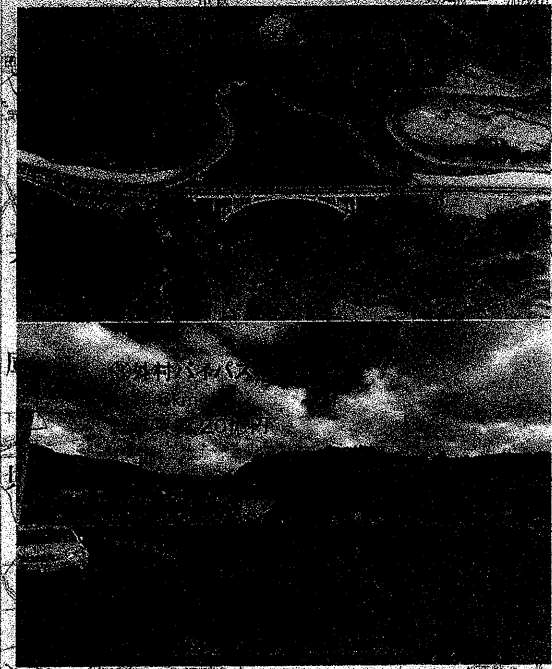
与謝天橋立IC

宮津天橋立IC

京都府立医科大学附属
北部医療センター

凡例

- 防衛省関連道路事業(府事業)
- 米軍関連施設
- 防衛省関連事業(市事業)



出石郡

加悦町

野田川町

与謝郡

加悦町

加悦町

加悦町

加悦町

加悦町

加悦町

加悦町

加悦町

加悦町

加悦町

加悦町

加悦町

加悦町

加悦町

加悦町

加悦町

加悦町

加悦町

加悦町

加悦町

要 望 書

令和6年11月

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

要 望 書

山陰近畿自動車道は、日本海沿岸国土軸を形成する重要な道路でありながら、日本海側唯一の高速道路のミッシングリンクになっており、全線事業化の目途さえ立っていない状況です。特に道路ネットワークの構築は、あらゆる産業の振興や救急医療など市民生活に直結し、本市が将来にわたって発展していくうえで最も重要な課題であります。

このような中、地元では、山陰近畿自動車道の整備加速化のため、令和7年度からの一部利用者負担を甘受したところであり、有料事業計画に即した計画的かつ着実な整備推進と先線の早期ルート決定が必要不可欠となっています。

また、令和6年1月の能登半島地震、令和6年9月の能登半島豪雨災害では、半島という地形的な特徴から、中山間地域、沿岸地域などの地区及び集落において、道路が寸断され、多くの集落が孤立状態となり、災害対応を困難にするなど、大規模災害発生時の半島地域における道路ネットワークの脆弱性が改めて顕在化しました。丹後半島も能登半島と同じ日本海側の同様の地形であり、地震や大雨等の大規模自然災害が発生した場合、同様のことが想定されることから、大規模自然災害時においても「確実に機能する道路ネットワーク」の、山陰近畿自動車道の整備が喫緊の課題となっています。

国においては、令和2年12月に「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を策定し、地方においても国土強靱化対策に積極的に取り組み、成果をあげているところです。

つきましては、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の目標を確実に達成するため、最終年度となる令和7年度予算においても必要な予算を例年以上の規模で確保し計画的に事業を推進し、国土強靱化実施中期計画の策定を令和6年度内の早期に完成させ、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保し継続的に取り組み、山陰近畿自動車道的全線早期完成に向け、次のことを要望します。

- 1 大宮峰山インターチェンジから府県境までの全線を令和10年代に完成するよう具体的な整備の年次計画を立てて時期的な目途を明らかにするとともに、その早期全線整備を図られたい。
- 2 大宮峰山道路事業が有料事業計画に基づき、令和8年度までには完成するよう必要な予算措置を行われたい。
- 3 網野インターチェンジから府県境までの区間について、早期に都市計画決定を行うための技術的支援を行われたい。
- 4 大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでの区間を料金徴収開始が予定されている令和7年度中のできる早期に事業化に直結した手続きの支援を行われたい。

令和6年11月21日

近畿地方整備局

局長 長谷川 朋弘 様

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟
会 長 池 田 恵 一

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 池 田 惠 一

副会長 櫻 井 祐 策

幹 事 松 本 聖 司

幹 事 谷 津 伸 幸

幹 事 多賀野 一 彦

小 牧 裕 幸

佐久間 仁 美

中 野 勝 友

鳴 海 公 軌

野 木 教 貴

東 田 真 希

山 本 佑 太

由 利 彰 基

吉 岡 正 一

和 田 晋

要 望 書

令和6年11月

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

要 望 書

京都府北部に位置する京丹後市は、世界認定の山陰海岸ジオパークに代表される豊かな自然やその景観、四季折々の山海の幸とともに悠久の歴史に育まれた優れた文化を有し、これらの地域資源の連携・活用を図りながら新しい価値観を創造し、地域の再生を目指して懸命な努力を続けています。

特に道路ネットワークの構築は、あらゆる産業の振興や救急医療など市民生活に直結し、本市が将来にわたって発展していくうえで最も重要な課題であります。

しかし、山陰近畿自動車道は、日本海沿岸国土軸を形成する重要な道路でありながら、日本海側唯一の高速道路のミッシングリンクとなっており、その全線整備の時期的な目途が示されておらず、まちづくりの長期展望を得ていく上でも隘路となっています。

こうした中、地元としては、山陰近畿自動車道の整備加速化のため、令和7年度からの一部利用者負担を甘受したところであり、有料事業計画に即した計画的かつ着実な整備推進と先線の早期ルート決定が欠かせない状況です。

また、令和6年1月の能登半島地震、令和6年9月の能登半島豪雨災害では、半島という地形的な特徴から、中山間地域、沿岸地域などの地区及び集落において、道路が寸断され、多くの集落が孤立状態となり、災害対応を困難にするなど、大規模災害発生時の半島地域における道路ネットワークの脆弱性が改めて顕在化しました。丹後半島も能登半島と同じ日本海側の同様の地形であり、地震や大雨等の大規模自然災害が発生した場合、同様のことが想定されることから、大規模自然災害時においても「確実に機能する道路ネットワーク」の、山陰近畿自動車道の整備が喫緊の課題となっています。

つきましては、次の要望を実現していただくようお願い申し上げます。

- 1 大宮峰山インターチェンジから府県境までの全線を令和10年代に完成するよう具体的な整備の年次計画を立てて全線整備の具体的な目途を明らかにするとともに、その早期全線整備を図られたい。
- 2 網野インターチェンジから府県境までの区間について、できるだけ早期にルートを確定し、全線の都市計画決定を行われたい。
- 3 大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでの区間を料金徴収開始が予定されている令和7年度中のできる早期に事業化に直結した手続きを行われたい。
- 4 大宮峰山道路及び峰山インターアクセス道路について、有料事業計画に基づき、令和8年度までには完成するよう事業の推進を図られたい。
- 5 防災機能の向上を図るため、緊急輸送道路の安心・安全な通行環境の確保を図られたい。

令和6年11月21日

京都府建設交通部

部 長 石 井 宏 明 様

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 池 田 恵 一

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 池 田 惠 一

副会長 櫻 井 祐 策

幹 事 松 本 聖 司

幹 事 谷 津 伸 幸

幹 事 多賀野 一 彦

小 牧 裕 幸

佐久間 仁 美

中 野 勝 友

鳴 海 公 軌

野 木 教 貴

東 田 真 希

山 本 佑 太

由 利 彰 基

吉 岡 正 一

和 田 晋

緊急輸送道路等の国府道整備図面

